



川西 明德 議員

質問

全国学力テストの弊害は

教育長

学校序列化や過度な競争を招きかねない

**質問** 県内での全国学

力テストの学校別結果  
公表をどうとらえてい  
るか。

町長 学力テストの結

果は、知識、技能、思  
考力、判断力、表現力、  
問題発見、解決力の一  
側面をあらわし、狭義  
の学力ととらえている。  
学校別結果公表は考  
えていない。

**質問** 結果公表による、  
学校・教師・子ども・  
保護者への弊害はどう  
か。

教育長 学力テスト結  
果の学力に加え、地域  
社会での豊かな体験や  
多様な人々との出会い  
や交流を通して、夢や  
希望に向かって主体的  
に学ぶ力を持った子ど  
もを育てる側面も大事

だ。  
すでに各学校は調査  
分析、考察結果を公開  
し、情報を共有してい  
る。  
学校の序列化や過  
度な競争を招きかねな  
い弊害がある。

**質問** 文科省が4月に

出した「学力テストに  
係る適切な取組の推進  
について」の通知はな  
にか、出された背景は  
どこにあるか。

教育長 この通知は、  
学力テスト結果が数値  
データを上昇させるこ  
とが主にならないよう  
出された。

学力テストは教育の  
機会均等と教育水準の  
維持向上を図る観点か  
ら、学力や学習状況等  
を把握分析し、教育施

策、教育指導の成果と  
検証や改善が目的だ。  
**質問** 自校採点実施は  
現場教員の理解と納得  
が得られていない。県  
教育委員会が推奨して  
いる実態をどうとらえ  
ているか。

教育長 結果返却が一  
学期末の8月で、でき  
ぐあいや、つまずき等  
をいち早く各校が課題  
をとらえるための指導  
だ。意義は各校で理解  
されている。

**質問** 学力テストに教  
育現場は疲弊している。  
教育行政の役割は、学  
校施設の充実、子ども  
の貧困対策、教員の多  
忙解消など教育環境の  
改善だと考えるが。

町長 学力テストは学  
習状況調査もあり、県

教委の施策にあわせ担  
任が指導の振り返り、  
授業改善に意欲的に取  
り組む面でも活用され  
ている。  
教育行政の課題は、  
引き続き改善に努める。

次期学習指導要領  
について

**質問** 教員の多忙の解  
消に向けた、県の勤務  
実態調査の結果を受け  
て業務改善はできたか。  
県教育委員会は県ス  
ポーツ審議会に、部活  
動の望ましいあり方な  
どを諮問し、合意形成  
を目指すとしているが、  
町教育委員会は可能と  
考えるか。

町長 小規模校、大規  
模校、校種に関わらず  
長時間勤務の実態はあ  
る。

町教育委員会として  
は、校務分担の適正化、  
会議の効率化等いかに  
長時間勤務の課題に取  
組むか示した。解消す  
べき課題の一つ一つを  
検証し取り組む。  
部活動の望ましいあり  
方については、新しい  
部活動指導者制度が  
できた。具体的運用に  
ついては、顧問の先生、  
保護者と検討しながら  
早期に導入したい。

